



第3回地域包括ケア病棟リハビリテーション実践講座

～ 地域包括ケア病棟に求められるリハビリテーション ～

2014年度診療報酬改定で新設された地域包括ケア病棟は、2019年1月末で推計78,300床と、回復期リハビリテーション病棟に迫る届出数となっています。2018年度診療報酬改定では、地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料1・3が新設され、「ときどき入院（ほぼ在宅）」の流れが高く評価され、在宅患者の受け入れ強化と共に、これまで以上に質の高い在宅復帰支援が求められています。患者さんの退院後の日常生活の質は、入院中のリハビリテーション（以下リハ）、栄養管理、認知症ケア、ポリファーマシー対策の包括的取り組みにかかっています。中でもリハは必須かつ最重要ですが、地域包括ケア病棟では摂食機能療法を除いて、リハは包括算定となるため、疾患別リハだけではなく必要な場面ですぐに介入できる生活に密着した^{ピーオーシー}POC（Point of Care）リハや、排泄リハ・認知症リハ等が、各施設の工夫で実践されています。本研修会では、基調講演に日本リハビリテーション病院・施設協会会長の斉藤正身先生をお招きして、地域包括ケア病棟のリハに期待する事をお話し頂きます。後半は、地域包括ケア病棟を持つ病院で活躍されている歯科医師やリハ療法士を講師としてお招きし、先行成功事例を参加者の皆様と共に学びたいと思います。奮ってご参加ください。

地域包括ケア病棟協会 会長 仲井培雄

プログラム（予定）

2019年4月19日（金） 会場：東京研修センター	
10:30～11:00	講演：「リハビリ・NST・認知症ケア・ポリファーマシー対策の包括的提供とPOCリハの可能性」 地域包括ケア病棟協会 会長 仲井培雄
11:00～12:20	基調講演：「地域包括ケアにおけるリハビリテーションの役割」 日本リハビリテーション病院・施設協会 会長 斉藤正身
12:20～13:00	昼食
13:00～13:50	先行事例①「整形外科疾患におけるPOCリハビリテーションの有効性」 野瀬病院 理学療法士 平林 卓己
13:50～14:40	先行事例②「大誠会スタイルにおける認知症リハビリテーションと排泄について～身体拘束ゼロでの工夫～」 内田病院 リハビリテーション部 理学療法士 安原千亜希
14:50～15:40	講演：「摂食嚥下障害にどう対応するか？～医療と生活のはざままで考える食支援とは～」 公立能登総合病院 歯科口腔外科部長 長谷剛志
15:40～16:25	全体討論 司会：ベルピアノ病院院長 戸田為久
16:25～16:30	閉会挨拶

*プログラムの内容につきましては、若干変更になる場合があります。予めご了承ください。

開催概要

日程	2019年4月19日(金) 10:30~16:30		
会場	東京研修センター 東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷 2階		
定員	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 120名(先着順)		
参加費	会員	8,000円	(地域包括ケア病棟協会会員病院にお勤めの方)
	非会員	18,000円	*どちらも昼食代含む
申込締切	2019年3月22日(金) *混雑が予想されますのでお早めにお申込ください。定員に達し次第受付を締切ります。		
申込方法	参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。		
主催	地域包括ケア病棟協会 〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷 2階 TEL: 03-3355-3120 FAX: 03-3355-3122 E-mail: info@chiiki-hp.jp ホームページ: http://chiiki-hp.jp		

(地域包括ケア病棟協会)

貴院名 _____ どちらかに○ ⇒ 会員・会員以外

住所 _____ (〒 -)

TEL. _____ FAX _____

連絡担当者氏名 _____ 部署 _____ 役職 _____

参加申込書

本紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

申込先FAX: 03-3355-3122

地域包括ケア病棟協会 事務局

申込締切: 2019年3月22日(金)

※参加案内と参加費請求書を4月上旬頃に連絡担当者様宛にお送りいたします。

定員に達し参加受付を終了した場合は、お申込み後、3営業日以内にご連絡致します。

No.	(ふりがな) 受講者氏名	職種	役職
1			
2			
3			
4			